

# はじめてを おうえんする、 ホール 劇場。

子ども文化センターは、一年を通じて多くのイベント・プログラムを開催しています。メインとなる会場は、どの席からも舞台が近く、あたたかい雰囲気が自慢の「劇場」。「生の舞台芸術を子ども達に」というテーマのもと、4つの「る」をキーワードに、幅広いプログラムを行っています。子ども達がわくわくするものと出会うとき、一歩踏み出す勇気を出したいとき、その背中をそっと押せる存在になりたいそれぞれの「はじめてを応援する」場、それが子ども文化センターです。  
(ホール座席数：386席)



みる

「みる」ことを楽しむ！  
音楽会、人形劇、など“生”の舞台の醍醐味を♪  
・子ども劇場 ・春の子ども文化まつり  
・子ども広場 ・子ども芸術劇場 など

P.3へGO!



やってみる

「やってみる」楽しさを体験！  
舞台芸術に初チャレンジ♪

・子ども教室  
(ミュージカル教室、ブラスバンド教室、子ども詩の会など)  
・スタッフボランティア(大人対象)など

P.9、R12へGO!



でてる

「出る」よろこびを味わう！  
日ごろの成果発表の場♪  
・子ども文化フェスティバル  
・子ども演劇フェスティバル  
など

P.11へGO!

さあ、きみは

なにをする？

どんなことをやっているのか、  
みにいってみよう！



何をしている  
施設なの？

子ども達が人間性豊かに育つことを願い、1979年(昭和54年)1月に開館した大阪市立子ども文化センター。「生の舞台芸術を通じて子ども達に生きる力を」という、設立当初からの理念を引継ぎ、舞台芸術の“鑑賞・体験・発表”をキーワードに、赤ちゃんから中学生まで、幅広い年齢に向けた、さまざまなプログラムを展開しています。(ホールでの鑑賞事業、舞台での発表事業、教室・講座等の創造事業、地域の文化活動に携わっている団体やグループとの交流・協働事業など)

市民の思いが  
集まり生まれた、  
センターの土台となった  
施設のはなし。

戦後の荒廃した社会において、次代を担う子ども達が健やかに育つことを願い、1951年(昭和26年)に宣言された「児童憲章」で示された理念の実現に向けて、大阪市では、市民の「児童文化募金」からの寄付を受けて1955年(昭和30年)に施設を設立。これが、子ども文化センターの前身である「大阪市立児童文化会館」です。